

事務事業名		リフレッシュセンター運営事業		所属部	吉田総合センター	所属課	市民福祉課
総合計画体系	政策名	(Ⅲ) 支えあい健やかに暮らせるまち《保健・医療・福祉》		所属G	市民福祉G	課長名	和泉博之
	施策名	(21) 健康づくりの推進		担当者名	和泉博之	電話番号	0854-74-0215
	目的: 対象	市民	意図	心身ともに健康で暮らす。		(内線)	4401
	基本事業名	(062) 地域ぐるみで取り組む健康づくり		予算科目	会計 款 大事業 大事業名	老人福祉施設管理事業	
目的: 対象	市民	意図	地域ぐるみで健康づくり活動に取り組む。		項 目 中事業 中事業名	リフレッシュセンター運営事業	

1 現状把握【DO】

(1) 事業概要

① 事業期間	
<input type="checkbox"/> 単年度のみ	<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (16 年度～)
<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度～年度)	
② 事業内容 (期間限定複数年度事業は全体像を記述)	
ケアポートよしだの温水プールを活用した、自主的に体力づくり活動に取り組む環境を、社会福祉法人よしだ福祉会に委託して市民に提供する。	

(2) 事務事業の手段・指標

手段	① 主な活動					
	28年度実績(28年度に行った主な活動) 温水プールを利用したリフレッシュセンター運営事業による健康に対する知識の獲得と健康づくり活動の推進 温水プール利用者数 3,802人	29年度計画(29年度に計画する主な活動) 平成28年度と同じ				
② 活動指標		単位	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(計画)
ア	委託料の額	千円	12,680	13,363	13,363	13,363
イ						
ウ						
エ						

(3) 事務事業の目的・指標

目的	① 対象(誰、何を対象にしているのか)		③ 対象指標		単位	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(計画)
	市民		ア	雲南市の人口	人	39,472	39,032	38,506	38,477
			イ						
			ウ						
② 意図(対象がどのような状態になるのか)		④ 成果指標		単位	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(計画)	
温水プールを使った健康教室等により、市民による自主的な健康づくり活動を促す。		ア	利用者数	人	4,067	3,919	3,802	4,000	
		イ	自主活動グループ数	団体	6	6	6	6	
		ウ							

(4) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳 (28年度決算)		② コストの推移		単位	26年度(決算)	27年度(決算)	28年度(決算)	29年度(計画)
運営委託料		事業費内訳	国庫支出金	千円				
・人件費	4,675千円		県支出金	千円				
・委託費、保守費	1,967千円		地方債	千円				
・光熱水費、燃料費	5,226千円		その他	千円				
・事務費	1,495千円	一般財源	千円	12,680	13,363	13,363	13,363	
		事業費計(A)	千円	12,680	13,363	13,363	13,363	
		人件	正規職員従事人数	人	3	3	2	
		費	延べ業務時間	時間	150	150	150	
			人件費計(B)	千円	583	587	595	
		トータルコスト(A)+(B)	千円	13,263	13,950	13,958		

(5) 事務事業の環境変化、住民意見等

① 環境変化 (この事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?)	② 改革改善の経緯 (この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)	③ 関係者からの意見・要望 (この事務事業に対して市民、議会、事業対象者、利害関係者等からどんな意見や要望が寄せられているか?)
利用者は、近隣に類似施設が整備されたことや、合併後に利用料の見直しを行なったこと等により、平成7年度をピークに、年々減少傾向である。	事業費については、効率的な運営に努めるよう促しているが、燃料に掛かる経費や施設の老朽化による維持修繕費の負担が大きく、大幅な削減が出来ない。	温水がきれいであり、利用者からは好評である。

事務事業名	リフレッシュセンター運営事業	所属部	吉田総合センター	所属課	市民福祉課
-------	----------------	-----	----------	-----	-------

2 事後評価【SEE】

A 目的 妥当性	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？ 意図することが結びついているか？ <input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている * 余地がある場合⇒	見直し余地があるとする理由
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して達成する目的か？ <input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である * 余地がある場合⇒	
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加する必要はないか？意図を限定・拡充する必要はないか？ <input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適切である * 余地がある場合⇒	
B 有効性	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？ 成果を向上させるため現在より良いやり方はあるか？ 何が原因で成果向上が期待できないのか？ <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある <input type="checkbox"/> 向上余地がない 理由 温水プールを活用した健康づくりの効果の広報活動及び、法人独自の運動教室などの開催と運営。	
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 この事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？ <input type="checkbox"/> 影響無 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 理由 自主的な健康づくり活動が出来る施策は必要である。プール運営を廃止すると、水中運動による介護予防事業の展開が出来なくなる。	
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的達成には、この事務事業以外の手段(類似事業)はないか？ ある場合、その類似事業との統廃合・連携ができるか？ <input type="checkbox"/> 他に手段がある * ある場合⇒ (具体的な手段や類似事業名) <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない 理由 指導員による運動指導を受けて水中運動を行うことができる。市民は、この運動指導をきっかけとして、この施設を利用した自主的な運動習慣を身に付ける事ができる。	
C 効率性	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など) <input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない 理由 運営費用の中では燃料費や光熱水費に係る経費が定期的に多くの割合を占め、大幅な経費の削減は困難である。	
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 成果を下げずにやり方の工夫で延べ業務時間を削減できないか？ 正職員以外や外部委託ができないか？ <input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない 理由 地域の介護予防事業として委託しているが、職員が直接この事業に関わることはなく、人件費等の削減の余地はない。	
D 公平性	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？ 受益者負担が公平・公正か？ <input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である 理由 誰でも利用できる。	
評価 の 総 括	① 1次評価者としての評価結果 A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり B 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり C 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり D 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	② 1次評価結果の総括(根拠と理由) 水中運動の有効性は、旧吉田村で行ってきた「転倒予防事業」で確認され、「身体教育医学研究所うんなん」の開設を通して雲南市全体へ波及している。

3 今後の方向性【PLAN】

① 1次評価者としての事務事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	② 改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>●</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table> <p>廃止・休止の場合は記入不要。 コストが増加(新たに費やし)で成果が向上しない、もしくはコスト維持で成果低下では改革・改善とはならない。</p>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上		●		維持			×	低下		×	×
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上		●																					
	維持			×																				
	低下		×	×																				
前期高齢者に対して水中運動を利用した転倒予防教室を展開している。また、中年層を対象とした教室を開催し、水中運動による介護予防活動や運動機能の維持に対する有効性をPRしている。																								